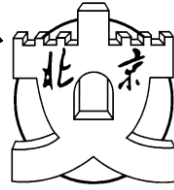


かささぎ



北京日本人学校
学校通信 2月号
平成30年2月26日
校長 奥田 修也

「悩んで、もがいて、助けられ」

父母会執行部会長 赤間陽子

2017年4月、父母会長になったばかりだった私は、北京の春を彩る柳絮のように不安で心がふわふわと漂っていました。それから1年が経ち、保護者の皆さん、先生方、そして何より元気な子供たちと一緒に貴重な経験を積むことができ、こんな私でもちょっとは成長できたかな？と心で密かに思っています。

2017年度の父母会活動を少し紹介させていただくと、校長先生はじめ学校側の全面的な協力を得て、学校4階に昨秋、父母会ラウンジを開設しました。

空き教室を有効活用すると同時に、開かれた学校を目指したい——。このような学校側のご意向に沿い、できるだけお金を掛けずに、かつ清潔感のある部屋を目指しました。元々の教室には机や椅子が大量に保管されており、それを運び出すだけでも大変でしたが、先生方や子供たちが大活躍してくれて無事、すべて倉庫に移動できました。内装の検討など父母会執行部で何度も集まってアイデアを練った集大成です。誰でも気軽に立ち寄れる交流の拠点ですので、ぜひ積極的に利用してください。

もう一つ、新機軸として打ち出したのが父母会役員選出方法の変更です。父母会役員は定数に比べ立候補者が少なく、どうしても抽選で役職をお願いすることになってしまいます。選出方法をいかに平等にするかは、学校に関わる皆さんに支えられた父母会活動の根幹に関わる問題といっても過言ではありません。

新しい選出方法では、今まで役員になったことのない方から優先的に選出する仕組みを取り入れました。これも執行部内で議論百出。侃々諤々（かんかんがくがく）と意見を戦わせ、「みんなで支える父母会活動」という精神を具現化したつもりです。しかしながら、選出方法の改革に終わりはありません。今後もしどし皆さんの意見をお寄せください。

このように例年にはない活動にも取り組んできましたが、父母会の最大の仕事はやはり、慣れない異国の地で過ごす子供たちが安心して学習することができる環境作りに協力することです。

登下校時の安全確保（通安）や、学校行事の紹介（広報）、おそろいの「JSB」Tシャツの企画（文体）など保護者の皆さんにも様々な局面で多大なご尽力をいただきました。

考えてみれば、子供たちはもちろんですが、先生方、保護者の皆さんにとっても日本を離れて暮らすことは苦勞の連続かと思えます。その中で父母会総会、役員選出作業など度々、ご足労いただいたことは負担も大きかったと想像いたします。それを厭わず力を貸していただいた皆さんの善意こそが、紛れもなく父母会活動を支える原動力でした。

不安をみんなで、喜びを一緒に、そして思い出を一生、分かち合っていければ、北京で過ごした日々はきっと今後の人生を支える大事な軸になってくれるはず。それを確信させてくれる1年でした。きっと皆さんにとっても、子供たちにとっても、そうであると思えます。



保護者の皆さんの中には「父母会役員は大変」と思っている人が多いのではないのでしょうか。実際、私がそうでした。確かに大変なことがないとは言いません。でも、その分、楽しいことも多いんですよ。

4月には新しい父母会執行部が始動します。きっと1年前の私と同じく、目の前にある課題や諸行事の日程を前に不安を抱えていると思います。でも、私たちがそうだったように、保護者の皆さん、先生方、そして子供たちの元気な支えを受け、これまで以上に素敵な学校にしてくれるはずだと確信しています。

最後に、こんな頼りない会長を支えてくれた父母会執行部をはじめとする皆さん、心からありがとう。2017年度父母会の打ち上げは父母会ラウンジで(笑)

二分の一成人式を終えて

小学部 4年生



1月27日(土)、小学部4年生は、それぞれの学級で特色ある二分の一成人式を実施しました！この日は全校参観日ということもあり、多くの保護者の皆様に足を運んでいただき、見守られながら、温かな雰囲気の中で行うことができました。4学年担任一同、ここに改めて感謝申し上げます。

学級で行うよさを生かして、4年1組では「10歳の自分史」4年1組では「将来の夢リーフレット」作成に取り組み、その他にも自分たちのアイデアや趣向を凝らして準備し、本番当日を迎えました。

今回の取組を機に、子どもたちは、生まれてからこれまでに多くの人の支えがあって自分が生きているということ、これからの自分の夢や目標に向き合い努力していくこと、そして、何よりいつも傍にいて励まし支えてくださっている家族への感謝を、改めて心に刻むことができました。10歳は、心身ともに大きく成長する重要な時期であるといわれています。今回の二分の一成人式で感じたことや決意したことを胸に、本番の「成人式」に向けて、前向きに歩んでほしいと願っています。

二分の一成人、本当におめでとう！



進路説明会を終えて

進路指導部

先日行われました平成29年度第2回進路説明会におきましては、多数の保護者の皆様にご来場いただき、心よりお礼申し上げます。この会中でもご説明いたしました、禅の教えに『啐啄同時』という言葉があります。進路指導で最も大切なことは、機を得て両者相応じる得難い好機を逃さないことです。雛鳥である「子ども」と親鳥である「上級学校や職種を含めた進むべき路」との出会いには、『啐啄同時』でなくてはなりません。本校進路指導部では、年度初めに開催いたしました「キャリアフォーラム2017」に代表されますように、本校と日本国内の上級学校との連携を図っており、次年度も継続してまいります。また、師範大附属中学や北京市立五十五中学などの現地校とも提携を結んでおり、充実した進学サポートを行っております。さらに、子どもたちの社会的自立に向けて、発達段階等に応じた系統的な取組を通して、汎用的能力を育成するキャリア教育を一層推進していきたいと考えています。子どもと保護者そして学校が三位一体となった進路指導を行っていかせますように、今後とも変わらぬご支援、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



今年度の終わりにあたり

図書室

今年度も残すところあと少しとなりました。図書ボランティアの方々をはじめとして、保護者の皆様、図書委員の児童生徒の助けを受け、今年度も円滑に図書室運営を行うことができました。改めて、皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。図書ボランティアの皆様には、恒例の読み聞かせをメインに、図書室の飾りつけや推薦本の紹介など様々な活動に尽力していただきました。読み聞かせ活動は、低学年のモジュールの時間の利用、通常のペーパーサートに加え新たな試みとしての簡易版ペーパーサート、紙芝居、ストーリーテリングなどバラエティに富んだ内容で、児童にとってもさまざまな形で優れた物語を知る良い機会に恵まれた1年になったと思います。また、今年度の最終貸出日は3月2日、3月5日～9日は返却のみ、最終返却日は3月9日とさせていただきます。春休み中の本の貸出は行いません。ご理解の上、ご協力の程よろしくお願いたします。

ただいま 何人？

小学部 平成30年2月26日現在

小学部			平成30年2月26日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	7	8	15	4-1	12	10	22
1-2	9	8	17	4-2	11	11	22
1-3	8	8	16	5-1	14	10	24
2-1	9	8	17	5-2	14	11	25
2-2	7	10	17	6-1	9	10	19
2-3	9	9	18	6-2	9	8	17
3-1	14	9	23	小総計	145	130	275
3-2	13	10	23				

中学部			平成30年2月26日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	10	7	17	3-1	6	6	12
1-2	10	6	16	3-2	6	6	12
2-1	7	8	15	中総計	46	40	86
2-2	7	7	14	総合計	191	170	361